

公社) 日本山岳会栃木支部 2025年7月マスターズクラブ山行報告書

1 期日：2025年7月23日(水)

2 場所：甲子山(かしま、1549m)(福島県西郷村、下郷町)

3 コース：甲子温泉-猿ヶ鼻-甲子山(往復)

4 参加者：菱田克彦、大島健一、鈴木清一(ゲスト)、枝典男(ゲスト)

5 行動概要

9:05 甲子温泉駐車場(標高約900m)に車を止め、スタート。元湯甲子温泉大黒屋の中の勝花亭(しょうかてい)と呼ばれる建物をくぐって山中へ。勝花亭は、寛政の改革で有名な白河藩藩主松平定信が訪れた時の休泊所だったとのこと。登り始めてすぐのところに、温泉神社があったので、安全を祈願して先へ進んだ。猿ヶ鼻までは、急な斜面の九十九折りの道が続く。下を甲子トンネルが通っている。

10:40 猿ヶ鼻(標高約1270m)に到着。ここからは、尾根伝いに比較的緩やかな道をほぼ真っ直ぐに山頂へと向かっていく。

11:25 甲子山分岐点(標高約1430m)に着いた。ここを右(北)に進むと、甲子峠を経て、大白森山に至る。甲子山頂へは、一直線の急な登りとなるが、両側にロープが張られている。ここまでずっと眺望は良くないが、このあたりから木々の間に旭岳(赤崩山)が見えるようになる。

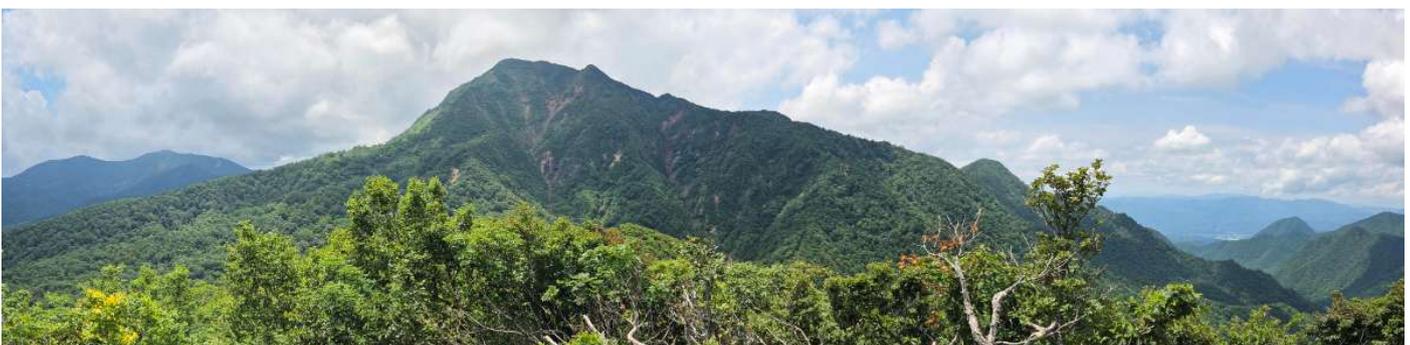
12:00 甲子山頂(標高1549m)に到着。山頂は眺望が開けている。南西の旭岳は「赤崩」と名がつくように、あちこち崩れて赤茶けた岩肌が見えている。また、「那須のmatterホルン」とも呼ばれているようだ。旭岳の左側に、三本槍岳が見える。北西には、一昨年春山山行で登った小野岳、北には、今度行ってみたいと思う二股山などが見える。



勝花亭



猿ヶ鼻



三本槍岳

旭岳

昼食後、12:00 下山開始。 遠く(那須町方向)から雷の音が聞こえてくるので、頭上に雷雲が発生しないことを祈りながら、急な道をロープを使って下った。 幸い、雨や雷に会わずに下山できた(14:45)。

この日は、大黒屋は休みだったので、新甲子温泉元湯みやま荘で、アブを避けながら入浴し、汗を流した。

連日の猛暑の中の山行、山頂でも暑くて、大量の汗をかいた。 もっと高い山に行かないと、涼しさは得られないようだ。 しかし、山頂からの眺めがよく、満足できた。 いい山なのに、途中

他の登山者にまったく会わないのが不思議だった。 残念なのは、レンゲショウマの花が見られなかったこと、というより花がほとんど咲いていなかったこと。



甲子山

6 ヒヤリハット

なし

7 甲子山の読みについて

「かしま」? 「かしざん」? 分からなかったので、『コンサイス日本山名辞典』で調べたところ、「かっしざん(かしま)」とあった。 みやま荘のフロントで聞くと、どっちでしょうねという答えだったが、頂いた『にしごう観光ガイド』には、「かしま」となっていた。

(菱田 記)

